

今月号は谷本梓先生から感染症がご専門の松尾貴公先生にバトンが移りました。

第212回

サル病の病気？サル痘？

テキサス大学ヒューストン校

/MDアンダーソンがんセンター感染症科

松尾貴公



みなさんはじめまして。2021年7月から東京の聖路加国際病院からヒューストンに参りましたテキサス大学ヒューストン校/MDアンダーソンがんセンター感染症科の松尾貴公と申します。現在、Memorial Herman HospitalとMDアンダーソンがんセンター（主に半分ずつ）でCOVID-19を含めた入院患者さんの様々な感染症の診療、外来でのフォローアップ、またがん患者さんが感染を合併した際の治療に関する研究を行っています。COVID-19を含めご紹介したい内容は様々あるのですが、今日は最近話題にあがっている「サル痘」についてご紹介したいと思います。

皆さんもご存知の通り、2022年5月から欧米を中心にサル痘の感染者数が増加しています。サル痘と聞いて皆さんは猿の感染症？とどんな病気か具体的にイメージできない方も多いのではないのでしょうか。様々なニュースが出てきているのですでに情報を取り入れていらっしゃる方も多いと思いますが、ここでは簡単にサル痘について現在の流行状況と、どのような感染症なのか簡潔にまとめていきたいと思います。

サル痘の流行状況

2022年7月11日現在、世界で7075例のサル痘患者が報告されています。主にヨーロッパが中心で大半を占めていますが、アメリカでも徐々に増加してきていてヒューストン近郊でも徐々に報告が相次いでいます。

サル痘が初めて人で報告されたのは1970年のコンゴ民主共和国です。サル痘と言ってもサルも感染すると言うだけで、もともとはネズミやリスの仲間のげっ歯類から感染するのではないかとされています。サル痘の仲間である天然痘は1980年に世界から根絶宣言が出されましたが、この天然痘に非常によく似ていると言われています。しかし重要な違いは、天然痘と比べて人から人に感染する頻度が低く、重症度も低いことが知られています。

ウイルスの遺伝子解析の結果、広がっているのは比較的病原性が低い、西アフリカ系統のウイルスだとされています。

サル痘の症状

潜伏期間は通常7日から14日間です。潜伏期間の後、一般的には発熱、頭痛、筋肉痛などが1日から5日間続き、発疹が出現します。発疹は、典型的には顔面から始まって体全体に広がります。発疹は膨らんで水疱

(水ぶくれ)になり、うみが出て、かさぶたとなり、発症から治癒までには2～4週間かかると言われています。非典型的な例としては、上記の前駆症状がなかったり、発疹が少数にとどまったり、直腸炎を合併したりすることも報告されており注意が必要です。



▲サル痘患者の発疹 (UK Health Security Agencyより)

予防法

それではどのようにして予防をすればよいのでしょうか。まずはどのように感染するかを理解しておくことが重要です。感染経路としては以下の3つが挙げられます。

1. ネズミやリスなどの感染した動物に噛まれたり、血液や体液に触れる
2. 感染した人の発疹や血液や体液に触れる (接触感染)
3. 感染した人の飛沫を浴びる (飛沫感染)

したがって、予防方法としては以下が挙げられます。

1. 症状のある人の飛沫・体液等との接触を避ける
2. 石けんと水、またはアルコールベースの消毒剤を使用した手指衛生を行う。有症状者が使用した服、寝具、タオル、食器等に触れる際は特に手指衛生に気をつける
3. サル痘を保有する可能性のあるげっ歯類等のほ乳類との接触を避ける
4. イベント等の大勢の集まりを避ける

治療法

基本的には症状を軽減させる対症療法になります。天然痘に対する治療薬が米国、また日本でも承認されました。今後の動向に是非注目していきましょう。

診断が困難な他の疾患として水疱瘡や帯状疱疹、性器ヘルペスなどといった感染症があります。症状が心配な場合は、ぜひ医療機関を受診しましょう。

今回は山下先生です。山下先生は熊本大学で主に胃癌の研究をされ、鹿児島の出水総合医療センターより昨年秋からヒューストンに来られました。奥様と2人のお子さんにはアパート内で大変お世話になっています。温厚で優しく、非常に頼りになる先生です。同じ九州出身ということもあり地元の話で盛り上がっています。今回の山下先生の記事を是非楽しみにしております！